

株式会社 徳工房

プラスチック製機械部品を 図面から起こして製作

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



製作を手がけたスピーカーの骨格部品

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
プラスチックの切削、貼り合わせ、曲げ、磨き加工	食品製造、家電、医療機器、自動車などのメーカー	プラスチック製機械部品

業務内容 図面に強い社長が ほぼ1人で事業を運営

徳工房は、プラスチック素材に切削や貼り合わせ、曲げ、磨きなどの加工を施して、精密機械部品や試作品を製造する。納入先は食品機械や家電、医療機器、自動車メーカーなど広範囲に及ぶ。金属加工も一部手がけているが、「真ちゅうやアルミニウムといった加工が容易な金属に限定しており、扱う素材の大半はプラスチック」と吉川徳光社長は説明する。

吉川社長が同社を創業したのは昭和63年。建設会社で施工図面を描く業務などに携わった後、試作品の製造会社に移り、ワーキングモデルやデザインモデルの製作技術を身に付けて独立。ほぼ1人で同社を切り盛りしている。

強み 口頭説明だけで 図面が描けるのが強み

同社の強みは、製作図面の作成から切削などの加工、完成品の納入まで一貫して対応できること。図面から起こしてワーキングモデルとデザインモデルの両方を製作できる吉川社長。これまでに約1万に及ぶ試作加工を手がけてきた実績があつての強みである。また、得意

先からラフスケッチの提示、あるいは口頭での説明を受けただけで図面を描くことができ、得意先からの信頼は絶大である。「リーマンショックによる不況で、一時事業を中断した」と明かす吉川社長。事業を再開できたのも、「ぜひ仕事をお願いしたい」との声が得意先から多くあがつたからで、信頼の高さがうかがえる。

実績 「網膜投影機」を 製作した実績も

現在は、プラスチック製の機械部品加工が売上の9割を占めるが、モデルハウスなどに置くノートパソコンのディスプレイなど、試作品の製作も続けている。かつては、卵型スピーカーのワーキングモデルを製作し、話題になったこともあつた。大手家電メーカーとの共同研究で、カメラで撮影した映像を網膜に映す「網膜投影機」を製作した実績もある。

網膜投影機は実用化には至っておらず、各種の試作品も「薄利多売で割に合わない」と吉川社長は言うが、これらの製作実績が、技術力の向上と得意先との関係強化の支えになっているのは間違いない。

社長あいさつ



代表取締役
吉川 徳光さん

「できたらいいな!」を一緒に創る」をモットーに、日々ものづくりに挑戦している企業です。設計から製作まで、心のこもった商品提供を心がけています。こんなもの、あんなものがあればいいな!を実現する、皆様に必要とされる企業でありたいと思います。

主な保有設備

- マシニングセンタ Cuttingcenter-3 キタムラ機械製 1台
- NC彫刻機 AE64II サカザキ精工製 1台
- NC加工機 AE62 サカザキ精工製 1台
- 汎用旋盤 GW-1622 GOODWAY MACHINE製 1台
- 3DCAD/CAMシステム Mastercam X2 ゼネテック製 1台



住所 / 〒567-0054 茨木市 藤の里2-16
TEL / 072-628-6181
FAX / 072-628-4331
創業 / 昭和63年8月
設立 / 平成21年6月
資本金 / 100万円
従業員 / 1名



フィルム印刷機械部品



ノートパソコンのディスプレイの試作も手がける